主要金融機関選定質問に対する回答

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 質問 | 回答 |
| １ | 応募申込書の「応募者」欄につき、「公務法人営業第二部長」での届出・押印を許容ください。（当部は個人向け店舗ではないため営業所（代理人）登録をしておりませんが、正式な事業店舗であり、これまでも各種契約時に使用している名称・印です。） | 応募者の代表印については、当該書面の提出による提案の権利義務が法人に帰属するよう、法人代表者又は会社法第１０条に規定する支配人を想定したものです。  これ以外の者の記名押印の場合は、法人代表者又は会社法第１０条に規定する支配人からの委任状を添付してください。 |
| ２ | 企画提案書、１財務安定性の項目「総資産業務コア業務純益率（ＲＯＡ）」につき、計算式にあります「総資産平均」ですが、当行では期末の「総資産」しか開示しておりません。貸借対照表で分る総資産を使用してもよろしいでしょうか。 | 公表ベースのデータから算定し、記入してください。なお、「総資産平均」ですので、期首（前年度財務諸表により貸借対照表数値）、期末（今年度財務諸表による貸借対照表数値）で算定してください。 |
| ３ | 企画提案書、１財務安定性の項目「不良債権比率」につき、「不良債権」とは、「破産更生債権及びこれに準ずる債権」「危険債権」及び「要管理債権」を合計したものと考えてよろしいでしょうか。また、「総与信額」とは、上記不良債権に「正常債権」を足し合わせたものと考えてよろしいでしょうか。 | お見込のとおりです。  「金融再生法開示債権」として分類される「破産更生債権及びこれに準ずる債権」「危険債権」、「要管理債権」を合計したものを分子とし、「総与信額」は「金融再生法開示債権」に「正常債権」を加えたものとしてください。 |
| ４ | 企画提案書、１財務安定性の項目「不良債権保全率」につき、当行では、「個別貸倒引当金＋要管理債権に対する一般貸倒引当金＋（自己査定に基づく）担保・保証等により回収可能分／上記不良債権」で計算されたものを公表しておりますので、そちらを転記するのでもよろしいでしょうか。 | 金融再生法の「金融再生法開示債権の保全状況の推移」で「引当金」と示されているものが「個別貸倒引当金」と「要管理債権に対する一般貸倒引当金」に分かれていると推察しますが、両者とも貸借対照表に計上済か、確認のうえ記入してください。貸借対照表上未計上の場合は計上額に調整のうえ記入してください。 |
| ５ | 企画提案書、１財務安定性の項目「自己資本比率」につき、当行では国内基準を公表しておりません。国際統一基準での表記でもよろしいでしょうか。 | 国内基準を公表していない場合は、国際統一基準であることを明記し、記載してください。 |
| ６ | 企画提案書、３入出金等各種サービス（３）集配金サービスにつき、現在の契約内容をご開示ください。  具体的には、各病院における現在の集金頻度、配金頻度、配金代わり金の授受方法（寄託方式か口座振替方式か）、１週間当たりの医業収入（集金額）の物量及び１回当たりの両替配金の物量（物量については、いずれも万円券、五千円券、千円券、５００円玉、１００円玉、５０円玉、１０円玉、５円玉、１円玉の別）をお教え願います。 | 物量については、別紙をご覧ください。  ※地方独立行政法人大阪府立病院機構の状況   |  |  |  | | --- | --- | --- | |  | 1. 集金頻度、配金頻度 | 1. 授受方法 | | 急性期Ｃ | 外来診療日 | 寄託方式 | | 呼吸器Ｃ | 日曜日を除く毎日（年末年始を除く） | 寄託方式 | | 精神Ｃ | 外来診療日 | 寄託方式 | | 成人病Ｃ | 外来診療日 | 寄託方式 | | 母子Ｃ | 外来診療日 | 寄託方式 |   　※集金時に合わせて配金を実施  ※大阪市病院局   |  |  |  | | --- | --- | --- | |  | 集金頻度、配金頻度 | 授受方法 | | 総合医療Ｃ | 外来診療日 | 口座振替方式 | | 十三市民 | 外来診療日 | 寄託方式 | | 住吉市民 | 外来診療日 | 寄託方式 |   ※集金時に合わせて配金を実施 |
| ７ | 企画提案書、４手数料等（３）短期借入金につき、大阪市病院局様並びに大阪府立病院機構様のそれぞれの直近３ヵ年に於ける借入の明細についてご開示いただけませんでしょうか。借入金額及び借入期間をご教示願います。  また、特に大阪市病院局様に於かれましては、今後独立行政法人化された場合に、借入頻度・金額・期間がどのように変わることが想定されるか、大凡で構いませんのでお示しください。 | ※地方独立行法人大阪府立病院機構の平成23～25年度の借入概要  平成23年度   |  |  |  | | --- | --- | --- | |  | 借入額 | 借入期間 | | 平成23年12月15日  ～22日 | 13億円 | 8日間 | | 平成24年1月16日  ～23日 | 11億円 | 8日間 | | 平成24年2月16日  ～22日 | 15億円 | 7日間 | | 平成24年3月15日  ～23日 | 11億円 | 9日間 |   平成24年度  　　借入実績なし  平成25年度  　　借入見込なし  ※大阪市病院局の借入概要  別紙をご覧ください。  借入頻度・金額・期間等については、現状と収益と費用の関係で大差がないと思われるので大きな変化は想定していません。 |
| ８ | 企画提案書、４手数料等（３）短期借入金では、⑧に「借入申込から実行までの期間」とあります通り、借入の都度、大阪市病院局様もしくは大阪府立病院機構様から借入の申込書を頂戴できると考えてよろしいか。 | 短期借入については大きく、当座貸越契約、個々の短期借入契約の２者を想定しています。借入時に必要な書面については、所要の手続きに従いますので、必要であれば提出します。 |
| ９ | 企画提案書、４手数料等（３）短期借入金ご提案させていただくにあたり、大阪市病院局様並びに大阪府立病院機構さまそれぞれの預金量をお教えいただきたく存じます。預金種別（普通預金か定期預金（又は譲渡性預金）の別）及び平成２３年度以降の年間平均残高をお教え願います。 | ※地方独立行法人大阪府立病院機構の預金量  　種別　普通預金（金利の付かない決済性預金）  　金額（期首と期末の平均）  　23年度　　17.5億円  　24年度　　47.8億円  　25年度　　43.0億円（期首と25年12月末日現在の平均）  ※大阪市病院局の預金量  　種別　　別段預金  　金額（期首と期末の平均）  　23年度　　20.0億円  　24年度　　37.8億円  　25年度　　33.6億円（期首と25年12月末日現在の平均） |
| １０ | 企画提案書、５（２）業務体制とは具体的にどのようなことをイメージしておられますでしょうか。記入欄が広くとられていますが、組織図等を記入すればよいのでしょうか。それとも担当者名でしょうか。ご教示願いします。 | 組織図の抜粋、組織での所属人数、うち主に当方の担当となる方の役職と人数を想定しています。 |
| １１ | 企画提案書、６危機管理体制（１）ペイオフ対策ですが、ここには大阪市病院局様並びに大阪府立病院機構様にとってのペイオフ対策となる商品・仕組み等を記入すればよろしいでしょうか。銀行の危機管理（固有財産管理）としてのペイオフ対策は考えられませんので、宜しくご教示ください。 | 現在、ペイオフに備え、決済性預金の活用などで資産管理を行っています。ここではペイオフの際に発生が予想される混乱（取り付け騒ぎ等）の中でも、円滑な資金取引が継続される一般的な対策等をご記入ください。 |
| １２ | 企画提案書で提出を求められているディスクロージャー誌の部数は２部で宜しいでしょうか。 | ５部提出してください。 |
| １３ | ＜入出金等各種サービスについて：第3＞  ・流動預金、固定預金の平均残高をお願いします。 | 現在のところ、資金は全て決済性の普通預金（府立病院機構）又は別段預金（大阪市病院局）に預けております。金額については、９番を参照してください。 |
| １４ | ＜法人口座への入金に関する業務の仕様について：第３（1）①＞  ・振込依頼人を特定できる入金データの提供とありますが、入金データを取得後、各病院機構・局ごとの基幹システムへ連携され入金管理を行われているのでしょうか。 | ※地方独立行法人大阪府立病院機構  毎日、銀行から全銀協の様式による入金データをファームバンキングを通じ入手し、財務会計システムに連携させています。  また、銀行からの入金を仮受金勘定で計上し、金額等を媒介に未収金と仮受金について、金額等を媒介に手作業で未収金との消込等の作業を行っています。  ※大阪市病院局  財務会計システムで発行した納付書等が債務者⇒出納金融機関⇒総括出納金融機関というルートで返却され、それをもとに財務会計システムで処理を行うことで入金管理を行っています。 |
| １５ | ＜債権請求代行サービス（仕様）について：第3（4）＞  ・取扱想定件数ですが、企画提案書作成要領のⅡ予想取引概要等に記載されている「１ 年間支払件数、①一般」と同等と考えてよろしいでしょうか。 | ※地方独立行法人大阪府立病院機構  取扱想定件数については、過去５年間の実績平均が年間約3,000件ですので、概ねその水準になるかと思われます。  ※大阪市病院局  企画提案書作成要領Ⅲ4手数料等（１）払込人(債務者)が負担する口座振込手数料の件数6,500件のうち1,000件を見込んでいます。 |
| １６ | ＜債権請求代行サービス（仕様）について：第3（4）＞  ・発行する請求書フォームについてですが、銀行振込対応のみでしょうか。それとも、コンビニ収納なども考慮する必要がありますでしょうか。 | コンビニ収納も考慮することが好ましいですが、提案内容に含まれるので、貴社としてご提案ください。 |
| １７ | ＜債権請求代行サービス（仕様）について：第3（4）＞  ・発行する請求書フォームが銀行振込対応のみの場合、圧着ハガキによる請求書フォームでもよろしいでしょうか。 | 特に支障はありませんが、提案内容に含まれるので、貴社としてご提案ください。 |
| １８ | ＜債権請求代行サービス（仕様）について：第3（4）＞  ・可能であれば、現在の請求書サンプルをご提示いただけますでしょうか。 | 別紙をご覧ください。（大阪府立病院機構、大阪市病院局） |
| １９ | ＜債権請求代行サービス（仕様）について：第3（4）＞  ・請求書作成のスケジュールをお教えいただけますでしょうか。（週次、月次等） | ※地方独立行法人大阪府立病院機構  即日請求：毎週水曜日  滞納請求：毎月第３水曜日  督促：３ヶ月に１回  ※大阪市病院局  未収金発生後早期　電話連絡取れない場合等その都度  中長期債権　　　　基本的には月初め |
| ２０ | ＜その他のサービス（クレジットカード取り扱い）について：第3（5）＞  ・各病院の１日当たりの①医業収益②クレジット取扱高③クレジット取扱件数をお願いします。 | ※地方独立行政法人大阪府立病院機構（１日あたり）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | |  | 1. 医業収益 | 1. クレジット   取扱高 | 1. クレジット   取扱件数 | | 急性期Ｃ | 7,360千円 | 2,902千円 | 138件 | | 呼吸器Ｃ | 3,215千円 | 980千円 | 37件 | | 精神Ｃ | 1,217千円 | 98千円 | 3件 | | 成人病Ｃ | 6,378千円 | 4,359千円 | 199件 | | 母子Ｃ | 2,630千円 | 1,156千円 | 70件 |   ※平成25年度実績、（医業収益は集金額）  ※大阪市病院局(１日あたり)   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | |  | 1. 医業収益 | 1. クレジット   取扱高 | 1. クレジット   取扱件数 | | 総合医療Ｃ | 6,437千円 | 3,692千円 | 201件 | | 十三市民 | 1,600千円 | 500千円 | 23件 | | 住吉市民 | 270千円 | 120千円 | 7件 |   ※平成25年12月実績(医業収益は窓口収入、開院日平均) |
| ２１ | ＜その他のサービス（クレジットカード取り扱い）について：第3（5）＞  ・各病院の①クレジット端末機台数②自動精算機の台数をお願いします。 | ※地方独立行政法人大阪府立病院機構   |  |  |  | | --- | --- | --- | |  | 1. クレジット   端末機台数 | 1. 自動精算機   台数 | | 急性期Ｃ | 4台 | 4台 | | 呼吸器Ｃ | 2台 | 0台 | | 精神Ｃ | 2台 | 0台 | | 成人病Ｃ | 2台 | 3台 | | 母子Ｃ | 1台 | 2台 |   ※大阪市病院局   |  |  |  | | --- | --- | --- | |  | 1. クレジット   端末機台数 | 1. 自動精算機   台数 | | 総合医療Ｃ | 5台 | 8台 | | 十三市民 | 1台 | 0台 | | 住吉市民 | 1台 | 0台 | |
| ２２ | ＜短期借入金について：第4（３）＞  ・金利提案について12月1日付との記載があるのですが休日のため、12月2日付のレートで良いでしょうか。 | 「１２月１日付」がない場合は、「１２月２日付」としてください。 |
| ２３ | ＜短期借入金について：第4（３）＞  ・当座貸越契約は専用口座による融資形式で良いのでしょうか。(当座預金残高がマイナスとなる融資形式ではない) | 特に支障はありませんが、提案内容に含まれるので、貴社としてご提案ください。 |